

事前質問・意見一覧表

2. 地域経済の再興

(1) 水産業の再興

質問

No.	内容	担当課
1	<p>意見への対応状況：P3 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産品の輸出戦略について、現時点での構想を教えてください。 ・水産業界に対してのヒアリング調査が実施されたのであれば、その内容をお知らせください。 <p>【回答欄】 (水産事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度衛生管理された荷捌き施設(A棟)を、EUに輸出可能な日本で最初の産地市場として登録申請をします。 ・水産業界関係者へのヒアリング調査については、行ってありませんが、八戸商工会議所水産部会との懇談会等、関係団体が集まる機会を利用して、意見交換等を行っております。 <p>(担当課ではないが参考まで：産業振興課)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 八戸港からの水産品輸出拡大のため、港湾管理者の青森県ではコンテナターミナル内にリーファー(冷凍・冷蔵)プラグを増設(62 77基)。 2. 八戸港国際物流拠点化推進協議会では、平成26年度から「八戸港農水産品等貿易促進補助金」の制度を創設。輸出1回につき3万円補助。1荷主につき3回(9万円)まで利用可。 3. 海外販路拡大事業として、海外展示会において八戸市等でブース出展し、市内の水産関連企業が出品・参加して商品をPR。 4. 本年6月開催の「2014はちのへ水産加工品展示商談会」では、北米からのバイヤーが来場・商談を行った(民間団体による招聘事業)。 5. 平成26年3月に策定された「青森県輸出拡大戦略(H26~30年度)」において、ホタテ、サバ、イカ、スケソウダラ、水産加工品等について、アジアや欧米各地への輸出拡大を目指している。 	水産事務所
2	<p>施策シート：P2 1</p> <p>魚市場の災害復旧・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の衛生管理高度化施設の稼働状況、課題などについて教えてください。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働状況：平成24年4回、平成25年3回 ・課題：施設の受け入れ態勢の整備、県外船の誘致、施設の稼働率向上 	水産事務所

No.	内 容	担当課
3	<p>施策シート：P5 19</p> <p>【復興】水産加工品展示会の開催（再掲）</p> <p>・「はちのへ水産加工品展示会2013」の開催した会場・出店数・出品数を教えていただきたい。</p>	水産事務所
	<p>【回答欄】</p> <p>・会 場：プラザアーバンホール</p> <p>・出店数：水産加工業者15社（ほか、八戸前沖さばブランド推進協議会、青森県産業技術センター食品総合研究所）</p> <p>・出品数：約300点</p>	
4	<p>施策シート：P8 27</p> <p>漁船誘致の推進</p> <p>・新たな漁船誘致については良い取り組みであると思いますが、25年度決算・26年度予算がゼロになっている理由を教えていただきたい。</p>	水産事務所
	<p>【回答欄】</p> <p>・現在は卸売業者が主体となって誘致活動を行っているため。</p>	
5	<p>施策シート：P8 29</p> <p>海外輸出に向けた加工場整備・加工品開発</p> <p>・25年度及び26年度の取り組みについて、お伺いしたい。</p> <p>・HACCP対応水産物（原魚・加工品）のEU輸出までにクリアしなければならない課題と輸出がいつ頃になるのか、お伺いしたい。</p>	水産事務所
	<p>【回答欄】</p> <p>・国のハサップ対応のための水産加工流通施設の改修支援事業を活用した施設：5社</p> <p>・平成25年度HACCP講習会等受講者：44名</p> <p>・平成26年度HACCP講習会等受講者：25名</p> <p>・平成26年度一般的衛生管理講習会受講者：59名</p> <p>・課題：EUへの輸出にあたっては、生産・流通・水産加工施設の一連が認定・登録を受けねばならないことがあげられます。</p> <p>・輸出の時期：対EUのHACCP対応施設としての産地市場登録、水産加工施設の認定後となるため、現時点では不明であります。</p>	

No.	内 容	担当課
6	<p>施策シート：P9 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産業の再興については有識者アンケートにおける満足度が、2.06と高い値を示しており、取り組み状況が顕在化し、市民目線で高く評価されるようになったことは好ましい。 ・新たな市場拡大を図るには国際競争力を強めることも一方法である。現状の国際的取引状況を明らかにした上で、課題分析、対応策策定等の段階を経て発展を確実なものにしていきたいものである。現状はどのような国際関係にあるのか提示願いたい。 ・東日本における水産業モデルとしては、他地域との相補的な関係から始まり、発展系として相乗的な効果をもたらすことが望まれる。さらには、関連産業も含めて集積化が図られることで盤石なる水産業が定着できるのではないだろうか。現状での水産業モデルはどのようなものであるだろうか。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際関係の現状 中国、東南アジア等への輸出はあるがEUは皆無。 ・水産業モデルの現状 市場の高度衛生化を進めているが、他の地域も同様の取組を実施していることから、八戸が先進地域として、他地域を牽引することが出来ればと考えている。 	水産事務所

意 見

No.	内 容	担当課
7	<p>意見への対応状況：P3 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市庁の中に「無料職業紹介所」があるという、初歩のこの部分をもっと市民にアピールすべきではないか。とてもこの事業（設置）が素晴らしいことであるのに、周知が不足なのでは。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「無料職業紹介所」は、当市の雇用の創出及び雇用の維持の強化のため、平成22年10月に開設されました。少ない求人の中から、これまで34名の方を就職につなげており、その他にも各種の雇用施策を実施し、雇用の維持・創出に努めて参りました。 ・しかしながら、昨年7月に公表されました「市長マニフェスト」の評価では、「雇用の維持・創出」という項目でかなり低い評価となりましたので、当課といたしましても、本年度は、ホームページや広報での周知はもとより、広く市民に周知できる方法がないか、検討して参りたいと考えております。 	雇用支援 対策課

(2) 農林畜産業の再興

質 問

No.	内 容	担当課
8	意見への対応状況：P1 1 ・八戸野菜フォーラムは、昨年度体験させていただきましたが、一部の特にはっちらみとしか受け止められなかった。公民館など、地域を決めて地域住民を巻き込む、しいてはその家族など、同じ人だけの参加のような状態になってはいないか。	農業経営振興センター
	【回答欄】 ・八戸野菜フォーラムの参加者のリピート率は2割程度。	
9	施策シート：P10 参考指標の動向 ・参考指標の動向の復旧状況（平成26年3月31日現在）園芸用ビニールハウスにおいて100%に至っていない理由を教えてください。	農業経営振興センター
	【回答欄】 ・規模縮小による復旧、被災農業者の高齢化による離農等によるもの。	
10	施策シート：P14 11 農業新ブランドの育成 ・農業の新ブランドについて、我々商工会議所との連携があまりうまくいってないように見受けられます。6次産業化に向けて農業者と商工関係者が会える場所の提供はできませんか。 ・八戸いちごフォーラムの来場者が3,396名とあるが、来場と参加は別なのか。また、八戸市農産物ブランド戦略会議の4名という委員の設定の意味は。話し合う内容によっては視野が狭くなるのでは。 ・意見への対応状況P1のNo.1、八戸野菜フォーラムへの意見と同じことをここでも言いたい。26年度は企画を検討してみても感じる。	農業経営振興センター
	【回答欄】 ・八戸市中央卸売市場を開設していることから、農作物の流通は市場流通を基本としており、農作物の取引を目的とする場所の提供はできない。 ・「八戸いちごマルシェ」では、「Let's eat 八戸いちごフォーラム」、「八戸いちごスイーツ作り体験」、「八戸いちごと八戸いちごを使用したスイーツの販売」、「八戸いちごクイズラリー」及び「八戸いちごの情報発信コーナーの設置」を行っており、これら全体の取組の来場者数が3,396名となったもの。 ・八戸市農産物ブランド戦略会議の委員数4名は、流通関係者、調理・販売関係者、観光関係者及び街づくり関係者で構成しており、会議の際には、必要に応じて農作物生産者の出席もあり。 ・八戸市農産物ブランド戦略会議は平成24年度に設置しており、会議の中の提案を既に具体化している。	

No.	内 容	担当課																	
11	<p>施策シート：P14 12</p> <p>環境保全型農業の普及促進</p> <p>・環境保全型農業の普及促進上の課題は何か。また、消費者、流通業界へのPRはどのように行われているのでしょうか。</p>	農業経営振興センター																	
	<p>【回答欄】</p> <p>・収穫量の減少や採算性が課題。</p> <p>・取り組むレベルにより認定・認証マークがあり、市HP及び毎年開催している八戸市環境展のコーナーでその説明やPRをするとともに、環境保全型農業で生産された農産物を試食・販売することで情報発信している。</p>																		
12	<p>施策シート：P15 14</p> <p>畜産業振興事業</p> <p>・畜産業の現状と課題についてお知らせください。(生産額、事業所数、雇用等、把握している範囲で)</p>	農林畜産課																	
	<p>【回答欄】</p> <p>八戸市の家畜頭羽数</p> <p style="text-align: right;">単位：戸・頭・羽</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>肉牛</th> <th>乳牛</th> <th>豚</th> <th>鶏</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H24</td> <td>戸数</td> <td>33</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>頭羽数</td> <td>2,214</td> <td>279</td> <td>47,096</td> <td>1,536,502</td> </tr> </tbody> </table>				肉牛	乳牛	豚	鶏	H24	戸数	33	9	7	11	頭羽数	2,214	279	47,096	1,536,502
				肉牛	乳牛	豚	鶏												
	H24		戸数	33	9	7	11												
頭羽数		2,214	279	47,096	1,536,502														
<p>八戸市の畜産産出額</p> <p style="text-align: right;">単位：千万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計</th> <th>肉牛</th> <th>乳牛</th> <th>豚</th> <th>鶏</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>918</td> <td>40</td> <td>15</td> <td>257</td> <td>603</td> </tr> </tbody> </table>		計	肉牛	乳牛	豚	鶏	H24	918	40	15	257	603							
	計	肉牛	乳牛	豚	鶏														
H24	918	40	15	257	603														
<p>八戸市の畜産産出額</p> <p style="text-align: right;">単位：千万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計</th> <th>肉牛</th> <th>乳牛</th> <th>豚</th> <th>鶏</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>918</td> <td>40</td> <td>15</td> <td>257</td> <td>603</td> </tr> </tbody> </table>		計	肉牛	乳牛	豚	鶏	H24	918	40	15	257	603							
	計	肉牛	乳牛	豚	鶏														
H24	918	40	15	257	603														
13	<p>施策シート：P15 15</p> <p>八戸港の飼料コンビナートの拡充の検討</p> <p>・飼料コンビナート拡充について、緑地面積緩和策に続く、検討中の追加の施策があれば教えてください。</p>	産業振興課 港湾河川課																	
	<p>【回答欄】</p> <p>(産業振興課)</p> <p>・八戸飼料穀物コンビナート工業団地には現在7社が立地。</p> <p>・拡充については飼料への需要とのバランスもあり、現在、特に検討中の施策は無い。</p> <p>(港湾河川課)</p> <p>・特にありません。</p>																		
14	<p>施策シート：P16 16</p> <p>食品加工関連企業の誘致</p> <p>・誘致の進捗状況はいかがでしょう。</p>	産業振興課																	
	<p>【回答欄】</p> <p>・誘致企業関連情報収集事業を実施した結果、「食料品製造業、飲料、たばこ・飼料製造業」の業種に該当する企業から、当市に進出意向を持つ回答は得られず、具体的に進んでいる案件は無い。</p>																		

No.	内 容	担当課
15	<p>施策シート：P16 17、18</p> <p>畜産バイオマス利用による発電等の事業化の促進（再掲） 木質バイオマス利活用の可能性の検討（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 畜産・木質バイオマス発電事業の、八戸地区における最近の動向について教えてください。 ・ 当該事業の推進にあたって、条例などの制度面で障害となっていることがありますか。 <p>【回答欄】 （農林畜産課） ・ 畜産バイオマスについて、階上町の業者が鶏ふんを活用した発電施設を計画していると聞いている。 （環境政策課） ・ 畜糞は産業廃棄物であり、廃棄物処理法の適用となることから事業者の負担となる。</p>	農林畜産課 環境政策課
16	<p>施策シート：P16 19</p> <p>木質ペレット利活用推進事業（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域の特色を活かした」との文言の中身は。また、この事業を一般市民に周知するための業者からのPRの方法などは、どう対策をしているのか。知る人だけが知っている事業になってはいないかの確認をしてほしい。 <p>【回答欄】 ・ 八戸地域に賦存する間伐材や林地残材を活用する。 ・ 市ホームページ・広報はちのへ・町内回覧ちらしでの周知、市内公民館でのポスター掲示・ちらし配布、市主催イベントでの周知、市内取扱店における補助制度の紹介依頼 など ・ 確認方法として、市政モニターを活用したアンケート調査などを検討</p>	環境政策課
17	<p>施策シート：P17 20</p> <p>グリーンツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「入園者からのクレーム対応検討会の実施 1回」とあるが、どのようなクレームがあり、そしてどういう検討会をしたのか、また、その結果改善しているのかどうか、お伺いしたい。 <p>【回答欄】 ・ 入園の際、受付係員が不在だったことに対する苦情 ・ 閉園の都度、寄せられた苦情に対する改善策について会員が検討する ・ 現時点で寄せられた苦情が無いことから、改善されたと考えられる</p>	地域振興課

No.	内 容	担当課
18	<p>施策シート：P17 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業環境はグローバル化等、他地域との擦り合わせが進むと厳しい状況が立ちはだかる。強い、果敢に挑戦し、行動する農業が求められる所以でもある。そのためには複数の人々の連携が大きな力になる。No.09の「地域農業経営再開復興支援事業」ではその布石になる機運を感じる。経営再開マスタープランの規模や概略をお知らせいただきたい。 	農業経営振興センター
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営再開マスタープランは、地域における人と農地の問題の解決を図るため、今後の地域の未来図について、地域での話し合いにより作成するもの。当市では市内を11地区に分け、全地区でプランを作成しており、これまで162経営体が地域の中心となる経営体として位置づけられている。 	

意 見

No.	内 容	担当課
19	<p>施策シート：P12 7、8</p> <p>担い手育成総合支援事業の実施 新規就農希望者や農業分野進出企業への総合的な起農支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な就農希望者を受け入れる体制の充実を図っていただきたい。(土地はないが農家で働きたい、農業大学卒業生の受け入れ、インターンシップなど) ・就農全般・人材育成など、インターネットの活用を含めた情報提供をしていただきたい。(「八戸 就農」を検索したが、具体的な募集や情報ページが見つからなかった) 	農業経営振興センター
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の青年就農給付金制度による支援のほか、市独自の取組として、「八戸農業ビジネスナイトセミナー」の開講及び「農業フィールド研修会」の開催等を行っている。また、先進的な農家や農業法人における実践を通じて、技術や経営のノウハウを学んでもらう国の「農の雇用事業」は県が行っている。 ・インターネットの活用を含めた情報提供は、今後掲載の仕方を検討。 	
20	<p>施策シート：P15 13</p> <p>高等教育機関との連携による農業経営者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等教育機関との連携による農業経営者の育成に関して、名久井農業高校との連携も考えてみたらどうか。 	農業経営振興センター
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「八戸市農業講座」における課題研究発表等をお願いしている。この取組以外の連携のあり方については、今後検討する。 	

No.	内 容	担当課
21	<p>施策シート：P17 20</p> <p>グリーンツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの推進があるのであれば、種差方面でブルーツーリズムも八戸の特徴として取り上げてみてはどうか。 ・観光農園にアルファベットや数字で記号を付けて、道の駅なんごうからきめ細かな案内板の設置をしていただきたい。 	観光課 地域振興課
	<p>【回答欄】</p> <p>(観光課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種差海岸を漁船で周遊する「種差海岸ぐるっとクルージング」を平成25年度から実施しています。期間は7月8月の土日祝日、全19日間。 ・種差海岸インフォメーションセンター及び種差海岸休憩所開所式のサイドイベントにおいて、地元の漁業部会の協力のもとで、ウニむき体験を実施しました。 ・種差海岸インフォメーションセンターにおいて、地元の漁業部会の協力のもとで、平成26年7月27日(日)に箱メガネを用いてウニ採り体験を行う体験プログラムを実施予定です。 ・以上、現在実施しているプログラムを継続していきたい。 <p>(地域振興課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ、八戸市南郷観光農園振興会に助言します。 	

(3) 企業活動の再興

質 問

No.	内 容	担当課
22	<p>意見への対応状況：P2 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産関連産業振興ビジョン策定のため、8月に検討会議を設置予定とのことですが、ビジョン策定のスケジュールとビジョンの方向性について、現段階で分かっている範囲で教えてください。 	農林畜産課
	<p>【回答欄】</p> <p>ビジョンの方向性(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「青森県養豚・養鶏振興プラン」を踏まえ、さらに地域に特化した振興計画の策定 ・八戸市にとどまらない、八戸地域全体での畜産振興を図るための計画 定住自立圏を活用し、地域が一体となって畜産振興を図る <p>ビジョンの主な内容(案)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産体制の整備及び強化 地場産畜産物の消費拡大 飼料の利活用の促進 家畜衛生の向上 家畜排泄物の適正管理と有効利用の促進 	

No.	内 容	担当課
23	意見への対応状況：P4 10 ・誘致の進捗状況はいかがでしょう。	産業振興課
	【回答欄】 企業誘致件数 H24年度 5 件（県全体 12 件） H25年度 5 件（県全体 15 件） H26年度 1 件	
24	施策シート：P24 20 【復興】ポートセールスの展開（再掲） ・ポートセールスについて、派遣を予定している 10 月時点の国際関係で、中国、韓国で効果はあるのでしょうか。	産業振興課
	【回答欄】 韓国：八戸港にとって重要な中国・韓国コンテナ定期航路を運航している南星海運本社を訪問。大きな権限をもつ同社会長・社長に面会し関係強化を図る。八戸港への継続寄港のため重要。 中国：山東省青島（チンタオ）市を訪問予定。 山東省は人口9500万人以上。中国では広東省に次ぐ人口と経済規模。青島市は人口760万人以上。青島港は世界7位のコンテナ取扱量を誇る貿易港。日本向け野菜の生産・輸出でも有名。 八戸港の上記コンテナ航路の寄港地であり、水産品が輸出されている。今後の貿易拡大が見込まれる。	
25	施策シート：P25 22 海外販路拡大事業（再掲） ・海外バイヤー招聘事業は、いつ頃から実施しているのか。 ・また、その事業内容と効果について伺いたい。	産業振興課
	【回答欄】 ・海外バイヤー招聘事業は、八戸港国際物流拠点化推進協議会の主催で平成25年度に行った。北米、台湾、香港から招聘。26年度は、6月に民間団体が北米バイヤーを招聘し、市も各種協力。 ・内容：県内企業の訪問、商談、水産加工品展示商談会の視察等。 ・効果：招聘後は、商品の製造環境・過程が分かり、商品理解が深まることもあり、問合せやリピートオーダーが入りやすい。海外誘客拡大の側面あり。	
26	施策シート：P27 28 粉体関連新産業創造可能性調査事業 ・粉体産業の当市における可能性をお知らせください。	産業振興課
	【回答欄】 ・現状では原料を他地域に供給するのみで、当市の産業の拡がりには繋がらない。したがって、金属粉末研究会とともに自動車、航空機及び燃料電池部品の応用に向けた研究や産業界へ事業への理解について働きかけており、可能性は大いにある。	

No.	内 容	担当課
27	<p>施策シート：P29 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創造的復興を遂げるために、事業者への多面的な支援措置を講じるのは適切である。種々の融資制度を設計し、事業者も積極的に活用している姿が見える。一方で、制度が多く複雑である印象も受ける。利用者にとって適切な誘導が肝心であろう。この点での評価をお聞きしたい。また、他の一般の融資制度に比してどの程度の優遇措置であるのかお聞かせ願いたい。 ・市場の拡大を図る一環として海外進出は大きなチャンスになりうる。No.23の「海外経済交流事業」においてアジア及び北米との貿易拡大を図るとしており、その進展に期待したい。現状での市場獲得状況をお聞きしたい。あわせて今後の進展見通しはどのようなものであろうか。 ・企業の事業活動は、自由にダイナミックであることは望ましい。一方で、製品には種々の規格への準拠が求められる。例えば、電磁環境等がある。これらの計測には外部電磁環境を遮蔽した空間で評価しなければならない。中小企業ではこれらの負担が伴う。地域の公的機関がこれらを側面から支援することができるならば、事業者もより活動力あふれる生産活動に従事することができるのではないだろうか。 <p>【回答欄】 (商工政策課) ・融資制度について、その時々状況にあわせて改廃を行っており、これらの制度について、利用者の適切な誘導がなされるよう、パンフレットの作成及び説明会等での配布、各金融機関や商工会・商工会議所への制度周知を行っております。 ・市の融資制度は保証協会の保証付き融資であるため、保証料について市が全額補助を行うとともに、市融資制度を運用するにあたり、各金融機関へ制度運用資金を預託することにより低利で融資が受けられるようになっております。</p> <p>(産業振興課) 海外経済交流事業： ・アジア及び北米での市場拡大余地大。民間の積極的取組みを支援。 ・コンテナ定期航路や航空路等、海外との輸送網拡充が重要。 ・現地での競争激化を予想。天然素材、無添加、健康にいいなど、高付加価値・ブランド戦略など日本製の良さを打ち出す。 ・一方で、商標・デザイン等の模倣・知的財産対策が重要。</p>	商工政策課 産業振興課

意 見

No.	内 容	担当課
28	<p>施策シート：P27 27</p> <p>誘致企業関連情報収集事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致企業関連情報収集事業では、商業・レジャー産業の誘致もしていただきたい。(若年層の県外への流出に歯止めをかける効果と雇用にも繋がるため) <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集事業の結果、商業・レジャー産業分野において、事業拡大や所在地以外の地域への進出を計画している企業を探し出すことはできなかった。 	産業振興課

(4) 観光・サービス業の再興

質 問

No.	内 容	担当課
29	意見への対応状況：P1 1 ・観光課の対応で「国立公園指定や、みちのく潮風トレイルの一部開通を契機とした地元や民間による商品開発等、新たな事業の動きがあれば、市としても支援してまいります。」とあるが、現在、動きがあるのかどうか、また、あるとしたらどのような動きか具体的にお知らせいただきたい。	観光課
	【回答欄】 ・国立公園指定に伴い、種差にちなんだ菓子類等が商品開発されています。	
30	意見への対応状況：P2 5 ・世界遺産指定で青森市は積極的に運動していますが、八戸市はあまり運動が見えませんがどうしてでしょうか。	是川縄文館 社会教育課
	【回答欄】 ・平成25年度 - 縄文遺跡群パネル展の開催、八戸縄文保存協会の協力による世界遺産候補地バスツアーの実施、市内小中学生への縄文遺跡群パンフレットの配布 ・平成26年度 - 縄文遺跡群パネル展の開催、八戸縄文保存協会の協力による世界遺産候補地バスツアーの実施、「縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム」を八戸市(はっち)で開催予定	
31	意見への対応状況：P2 5、P5 12 ・活動の中で、是川縄文館のことを尋ねられる機会が多い。交通アクセスが、循環バスは確かに市民にとってはとてもいいものだが、観光となると行きたい人にとって利用するには大変な様子と同える。すばらしい遺跡文化を持っているのにもっとPRしてはどうかというお客様がいる。アクセスを単独で考えるなどの方法はないものか。	是川縄文館
	【回答欄】 ・中心街からの交通アクセスは、るるっぶが中心 ・八戸駅からは、土曜・日曜・祝日のみ是川縄文館直通のバスを往復計8便運行	
32	意見への対応状況：P4 11 ・ホームページで視聴が出来ないのは致命的です。契約の際、この点検討できなかったのか。	観光課
	【回答欄】 ・八戸市観光PRDVD「フィールドミュージアム八戸」は、旅行会社への販促品等の活用を目的として作成したものであり、当時はホームページでの視聴は想定していませんでした。	

No.	内 容	担当課
33	<p>意見への対応状況：P4 11、P5 14</p> <p>・多様な年齢層に八戸を知っていただくため、Youtube上で公開できるようなプロモーションビデオを作ることは考えられないか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・県観光連盟が運営しているアプティネットに、県内の観光資源についての動画が提供されており、八戸の代表的な資源についてもアップされているので、市ホームページにリンクを貼るようにしたいと思います。</p> <p>・You Tubeでも、八戸の観光資源についてかなりの画像がアップされているので、現時点では新たにDVDやビデオを作成することは考えておりません。</p>	観光課
34	<p>意見への対応状況：P6 16</p> <p>・はちこは、八戸の玄関口で案内役として機能しており、シームレスで活躍しなければならないと思うが、役所の予算の関係で一年契約で、しかも4月から6月まで不在となります。これでいいのでしょうか。打開策を求めたい。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・今年度から国土交通省の補助事業を活用して事業を実施しており、国による当事業の決定が5月にずれ込んだことにより、7月中旬の業務開始までに相当の期間を要しましたが、次年度以降はできる限り継ぎ目なく業務が実施できるように国との調整を行って参ります。</p>	都市政策課
35	<p>意見への対応状況：P6 17</p> <p>施策シート：P39 施策を取り巻く課題や論点</p> <p>・意見への対応状況P6のNo.17及び施策シートP39の3. 施策を取り巻く課題や論点の「広域連携やインバウンド対応を視野に入れた観光誘客宣伝の強化」のインバウンド対策について、少ないながらもイスラム圏の観光客は、来八されはじめており、受け入れ施設等で食事の対応など独自に勉強したり、ツアー担当者と綿密な打合せの上対応している状況がある。宣伝強化してから受け入れ体制の準備を始めては遅いと思われるので、今からでも少しずつ勉強会などを開催し理解していく必要があると思うのだが、いかがでしょうか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・国土交通省の調査によると、平成25年の県内の外国人宿泊客数の割合は、韓国・中国・台湾・香港のアジア圏が約7割を占めています。</p> <p>・県や観光連盟では、同地域を重点エリアとしてプロモーション等を進めていることから、県等と国内外でのプロモーション等を一緒に進めていき、当市の認知度向上と誘客を図っていきたいと思います。</p>	観光課

No.	内 容	担当課
36	<p>施策シート：P35 20</p> <p>八戸ポータルミュージアムを活用した観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドミュージアムアクセス事業に関して、意見への対応状況P6のNo.17及び施策シートP39の3.施策を取り巻く課題や論点の2点目にも関連しますが、この事業の多言語版パンフレット作成にあたり、はっち関連だけでなく、今後のインバウンド施策として、他の市観光パンフレットとともに、具体的にどのように観光PRしているでしょうか。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「八戸のなぞ」のほか、「八戸観光ガイドマップ」、「八戸三社大祭」、「八戸えんぶり」、「南部圏域観光パンフレット」の多言語版を作成しています。 ・多言語版パンフレットを観光プラザやはっちインフォメーションに設置するとともに、県外PRイベントにおける配布や、県が実施している海外のAGT招聘、テレビ取材対応時に活用し、PRしています。 	観光課
37	<p>施策シート：P39 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このところ2週間程のテレビ番組で、下記のように八戸市が積極的に紹介されており、露出度が高まっている。一市民としては大変嬉しく思っている。 ・2014年07月08日（火）19:00～19:56 日本テレビ「火曜サプライズ」 京本政樹・柳沢慎吾・DAIGO氏等が八戸市を旅して紹介した「仙人の食卓 雄艇」 ・2014年07月10日（木）07:45～08:00 NHK BSプレミアム「にっぽん縦断こころ旅」 火野正平氏が紹介した青森県八戸市等 ・2014年07月12日（土）08:00～09:30 テレビ朝日「朝だ！生です旅サラダ」 石倉三郎氏が青森の旅として紹介した八戸市「季節料理 安兵衛」 ・メディアの中でテレビは動画として臨場感があり、訴求力も大きい。八戸市から放送局への積極的な働きかけの結果なのであろうか。今後も継続できればと願っている。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当市から広告代理店を通じた働きかけの結果であるとともに、番組制作側から番組の提案をいただいたものもあり、八戸市の認知度が高まってきている成果と認識しています。 ・今後も継続して働きかけて参ります。 	観光課

意見

No.	内容	担当課
38	意見への対応状況：P2 5 <ul style="list-style-type: none"> ・是川縄文館には、観光客や生涯学習のために児童生徒も訪れる。ボランティアの方には、ガイドだけでなく体験学習も含めたサポーターとして関わるなど、職員と協働で館の運営を行うのが理想的と考える。 	是川縄文館
	【回答欄】 <ul style="list-style-type: none"> ・縄文是川ボランティアは、平成8年設立以来、ガイド及び体験学習指導を実施 ・縄文館行事として、縄文体験コーナー（日曜日・夏休み）土曜日体験教室、体験講座を実施 ・その他、事前要望があった団体等に対し、随時、体験学習指導・出前授業を実施 	
39	意見への対応状況：P4 11 <ul style="list-style-type: none"> ・DVD「フィールドミュージアム八戸」のホームページでの視聴が著作権の問題で対応できないとありますが、個人や少人数での旅行が増えていることから新たに八戸市がDVDを作成して、八戸市の魅力を発信していただきたい。 	観光課
	【回答欄】 <ul style="list-style-type: none"> ・県観光連盟が運営しているアプリネットに、県内の観光資源についての動画が提供されており、八戸の代表的な資源についてもアップされているので、市ホームページにリンクを貼るようにしたいと思います。 ・You Tubeでも、八戸の観光資源についてかなりの画像がアップされているので、現時点では新たにDVDやビデオを作成することは考えておりません。 	
40	施策シート：P32 10 種差海岸の環境美化・保全の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・完了事業ではあるが、美化という言葉から芝の維持は種差の一番重要なものと思う。刈る時期や刈り過ぎなど、委託事業にはなっていると思うが、八戸市でもっと管理を徹底する必要があると感じる。 	観光課
	【回答欄】 <ul style="list-style-type: none"> ・震災の復興事業としては終了しましたが、通常の芝の維持管理については、種差芝生地草刈等業務として実施しています。 ・期間中に、芝生の草刈りを年12回実施しています。 	

No.	内 容	担当課
41	<p>施策シート：P32 11</p> <p>種差海岸国立公園 P R 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 種差海岸トレッキング事業に関して、葦毛崎展望台の駐車場が不足していると感じられます。(第2駐車場などはあるのでしょうか。)また、観光バス専用の駐車場も必要だと思います。 コースに関してですが、順路がわからなくなることが度々あります。(特に白浜から漁港を通る訳ですが案内板が必要だと思いますし、同様に深久保漁港へ坂を下りた場合にどちらに行けばいいのかわからなくなります。) <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 葦毛崎展望台の駐車場について、第2駐車場はありません。 観光バス専用の駐車場については、葦毛崎展望台にはありませんが、トレッキングの拠点となる蕪島地域と種差芝生地域の蕪島海浜公園・種差海岸インフォメーションセンターに駐車可能です。 コースに関しては、現在、環境省により、既存の観光案内板等にステッカーやプレートを貼るほか、目印となる標柱を設置しております。委員ご指摘の白浜漁港及び深久保漁港にもプレートまたは標柱を設置する予定と伺っております。 	観光課
42	<p>施策シート：P35 21</p> <p>南郷ツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 南郷ツーリズムの「田舎体験」の民泊の実態は。もしなかったら、事業として取り上げてもいいのでは。ジャズなどの折に長期で八戸に滞在してもらえる材料になるのでは。 交通アクセスで、交通弱者のための道の駅と朝もやの館をつなげるアクセスの方法があると、南郷に滞在時間が多くなるのでは。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 南郷ツーリズム事業では、農家民泊は行っていない。 南郷区で農家民泊を行っている農家は4件ほどである。 達者村ホームステイ連絡協議会が窓口となり、主に修学旅行生を、南部町を中心に年に4～5校程度受入れている。 交通アクセスについては、道の駅と朝もやの館を結ぶ「南郷コミュニティバス」が運行されており、誰でも利用可能となっている。 	観光課
43	<p>施策シート：P38 32</p> <p>美術館連携事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 美術館事業と中心街へ回遊してもらおうための事業は継続してやっているが、駐車場問題に力を入れないと、来場者は歩くという(回遊)行動には渋るのが現実である。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の駐車場の利便性向上策については、商工団体やまちづくり会社、中心商店街、市民団体等で組織している「八戸市中心市街地活性化協議会」の交通アクセス部会において、具体的かつ効果的な実施方法について検討しております。 	まちづくり文化推進室

No.	内 容	担当課												
44	<p>施策シート：P39 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> 28、29またほかにも言えることだが、周知の方法が浅いため、市民に行き渡っていないのが今の八戸と感じる。参加者があって初めて事業をやる意味があるのであって、主体者が事業をやってそれで良いというのでは違うとを感じる。現在そういう事業が多いと感じる。 <p>【回答欄】 (まちづくり文化推進室)</p> <ul style="list-style-type: none"> はちのへホコテンは開催 6 年目を迎え、春から秋の中心街イベントとして定着してきたものと認識しており、同時開催イベントとの相乗効果も取り込みながら、事業の魅力アップに努めていると伺っています。 周知方法のあり方については、「はちのへホコテン実行委員会」における効果的手法の検討をお願いするとともに、市は「広報はちのへ」への掲載などを通じた周知を引き続き行います。 <p>(商工政策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> Buyはちのへ運動は、八戸商工会議所全 9 部会、市、八戸商店街連盟のほか、八戸菓子商工業組合や八戸市物産協会など、各業界団体により構成されている「Buyはちのへ推進会議」が主体となって活動している普及啓発運動である。 同運動については、様々な媒体を活用して周知を図っていると伺っている。 <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内小学生を対象とした標語コンクールの応募者数 <table border="1"> <tr> <td>第1回 (H22)</td> <td>応募点数233点</td> <td>応募校数7校</td> </tr> <tr> <td>第2回 (H23)</td> <td>応募点数474点</td> <td>応募校数5校</td> </tr> <tr> <td>第3回 (H24)</td> <td>応募点数569点</td> <td>応募校数13校</td> </tr> <tr> <td>第4回 (H25)</td> <td>応募点数871点</td> <td>応募校数16校</td> </tr> </table>	第1回 (H22)	応募点数233点	応募校数7校	第2回 (H23)	応募点数474点	応募校数5校	第3回 (H24)	応募点数569点	応募校数13校	第4回 (H25)	応募点数871点	応募校数16校	まちづくり文化推進室 商工政策課
第1回 (H22)	応募点数233点	応募校数7校												
第2回 (H23)	応募点数474点	応募校数5校												
第3回 (H24)	応募点数569点	応募校数13校												
第4回 (H25)	応募点数871点	応募校数16校												

(5) 風評被害の防止

質 問

No.	内 容	担当課
45	<p>施策シート：P43 11</p> <p>海外販路拡大事業（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外販路拡大事業について、食料品がメインですが、工業品、サ - ビス業なども参加できないのでしょうか。 <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業振興課での取組みは現在のところ主に食品輸出に取り組んでいるが、商工政策課担当の事業（国庫補助）で、台湾との工業品ビジネスマッチングを実施。 ジェトロでは、サービス業の海外展開支援のメニューがあり、市内飲食店でコンタクトしている企業があると聞いている。 	産業振興課

意見

No.	内容	担当課
46	<p>施策シート：P44 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射性物質に対する監視体制が整備され、農産物、浄水、海水浴場、水産物等で検出されなくなっている。再生期から創造期に移る節目として適切な時期に「安全宣言」を行うことで新たな展開へ変わるという意識付けができるのではないだろうか。 <p>【回答欄】 (水道企業団経営企画課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年4月から実施している月1回の検査では原水及び浄水から放射性物質が一度も検出されず、浄水処理への影響が無いことが確認されました。今後は年1回の頻度で調査を実施し、経過を監視していきます。 <p>(農林畜産課・農業経営振興センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射性物質検査については青森県が主体となり実施していることから当市のみでの安全宣言を行うことは難しい。 <p>(水産事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「安全宣言」の時期につきましては、国や県の動向を注視して参ります。 	環境保全課 水道企業団経営企画課 農林畜産課 農業経営振興センター 水産事務所

その他

質問

No.	内容	担当課
47	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光者向けの対策を何かとっていますか。また、現在、実施検討中のものはありますか。PR、ガイド他について教えてください。 (種差、蕪島、南郷、縄文館、ポータルミュージアムはっちなど) <p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 八戸市では、観光ガイドマップ、八戸のなぞ、八戸三社大祭、八戸えんぶり等のパンフレットを、英語・韓国語・中国語(繁体字、簡体字)で作成しています。 八戸駅内のはちのへ総合観光プラザでは、英語・中国語・韓国語、八戸ポータルミュージアムはっちでは、英語・中国語を話せるスタッフが常時勤務しています。 はちのへ総合観光プラザ、種差海岸インフォメーションセンターでは、県で実施している多言語通訳サービスを導入しています。 	観光課

意見

No.	内 容	担当課
48	<p>・今回の地域経済の再興のシートの中には、周知徹底を必要とする施策が多いと思う。市民や関係各所への広報の拡大を担当者の課題とすることが必要だと感じる。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・市の主な広報媒体 広報はちのへ 市ホームページ、ツイッターなどのインターネット パブリシティ広報（報道機関へのプレスリリース） テレビ、ラジオによる広報番組 チラシ・ポスター等の公共機関への掲示 町内会への回覧広報</p> <p>・今後とも頂いた御意見を踏まえ、市民への情報発信が適時・適切に行われるよう、広報活動に取り組んで参りたいと考えております。</p>	政策推進課
49	<p>・八戸市内には南郷区のカッコウの森エコーランドに5棟のバンガローが整備されているものの、これといったキャンプ場が存在しないことから市民が市外や県外の施設を利用している状況にあります。他地域からの観光客の誘客を目的としたバンガローの建設は、地場の木材を利用できたり、キャンプ場内で地元の生鮮食材を販売することにより、地産地消や地場産食材のPR、消費拡大にも繋がると思われます。</p> <p>・また、八戸の魅力を掲載したパンフレット等を置くことにより、八戸の情報発信にも繋がると思われます。このことからキャンプ場やオートキャンプ場の整備を検討していただきたい。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・八戸市内のキャンプ場としては、カッコウの森エコーランドのほか、南郷水辺の楽校、種差芝生地、八戸市民の森「不習岳」などにあります。</p> <p>・キャンプ場等については、既存の場所・施設を活用することを基本としながら、PRに努めて参ります。</p>	観光課
50	<p>・来年秋に十和田市で開催されるB-1グランプリを視野に入れ、八戸も宿泊先になると思われることから、十和田市や関係団体と連携をして八戸市の魅力を伝え、誘客に繋がるようにしていただきたい。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・来年で、第10回目となるB-1グランプリ全国大会は、ここ数年においては、来場者数が50万人を超えるなど、大規模なイベントである。</p> <p>・会場に近い八戸市も宿泊先となることが予想される。</p> <p>・今後、十和田市や関係団体と連携して誘客につなげて参りたい。</p>	観光課

No.	内 容	担当課
51	<p>・ 8 月と冬に、A B A ・ H T B 共同制作で「Love Hokkaido」～津軽海峡交流圏の魅力をアジア各国に発信する番組企画があるようですので、八戸も是非取り上げていただけるように働きかけてはいかがでしょうか。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・「Love Hokkaido津軽海峡スペシャル」は、県観光交流推進課の委託事業で番組企画をしています。</p> <p>・県へ八戸を取り上げてもらえるように働きかけたいと考えています。</p>	観光課